

福山市瀬戸町地頭分

じとうぶみぞぶち
地頭分溝渕遺跡（第2次調査）

見学会資料



地頭分溝渕遺跡（北西から）

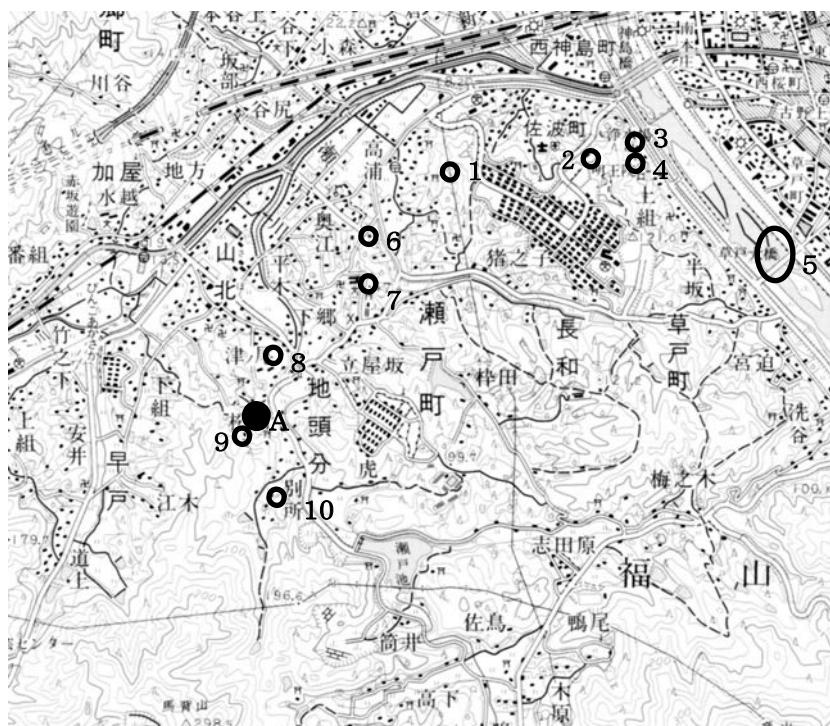
平成28年7月9日（土）

公益財団法人広島県教育事業団
福山市教育委員会

1 位置と環境

地頭分溝渕遺跡は福山市街地から芦田川を隔て、西側に位置する瀬戸町の丘陵緩斜面に立地して、弥生時代から中世に及ぶ集落遺跡です。本遺跡が所在する瀬戸町には、「長和」・「地頭分」・「別所」など当時の地名を残すものがあります。瀬戸町一帯は草戸千軒町遺跡の後背地で、中世荘園として有名な長和荘に含まれていました。長和荘の荘域の北辺は瀬戸町、神島町、佐波町で、南辺は田尻町の範囲と比定でき、芦田川に沿った南北に長い地域が推定されています。荘園内の年貢等の運搬ルートとして芦田川を使用していた可能性から、この長和荘と草戸千軒町遺跡には深い関連があると指摘されています。

本遺跡の北には石淵城跡、南に別所城跡の中世山城が位置しており、別所地域には平安時代後期の木造阿弥陀如来坐像（県重文）、室町時代中期の木造十一面観音立像（市重文）、室町時代後期の木造阿弥陀如来坐像（県重文）が伝わっています。さらに東には国宝の本堂、五重塔を有する真言宗大覚寺派の明王院（もとは常福寺）や佐波城跡、的場山城跡、中山城跡など数多くの歴史的遺産が知られています。



- | | |
|----|---------|
| A | 地頭分溝渕遺跡 |
| 1 | 的場城跡 |
| 2 | 佐波城跡 |
| 3 | 草戸稻荷神社 |
| 4 | 明王院 |
| 5 | 草戸千軒遺跡 |
| 6 | 片山城跡 |
| 7 | 福井八幡神社 |
| 8 | 石淵城跡 |
| 9 | 福成寺 |
| 10 | 別所城跡 |

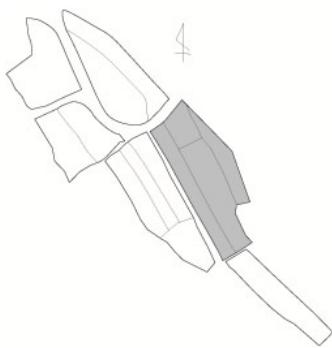
地頭分溝渕遺跡周辺主要遺跡分布図（1：50,000）

2 調査区の概要

発掘調査は、昨年度の調査区のうち、追加の試掘調査で遺物や遺構を確認したD・F区の2か所で調査を進めています。

(1) D区

F区の北側に位置しています。昨年度の調査では2つの生活面を確認しており、新しい上層の第1面では柱穴等はありませんでしたが、その下の第2面までの間層で土師質土



器が出土していることから、中世以降の生活面といえます。なお、この間層では、平安時代初期の円面硯が出土しています。

第2遺構面では、古墳時代初期から中世にわたる遺構が確認されました。

今回の調査では、この第2遺構面のさらに下層から遺構や遺物を確認しています。その内訳は竪穴住居跡1、溝状遺構9、ピットです。この他に遺跡に東半部に黒褐色粘質土中内から弥生時代から中世にかけての土器類（量的には古代が多い）が出土しています。

竪穴住居跡は円形で、全形の3分の1程を調査しました。上面が後世の改変で削平されているので、遺存状況は不良でしたが、炭化物や焼け土が比較的まとまって出土しました。このような状況から何らかの原因で火を受けたとおもわれます。時期については出土遺物などから弥生時代と思われます。



竪穴住居跡 炭化物出土状況

溝状遺構は調査区の主には西側（山側）で確認できました。また、一部については東側でも確認しています。溝状遺構は南北方向に延びています。これは地形の形状を反映していたと考えられます。

これらの遺構のうちいくつかは、谷側にやや平坦面な面があるので、上面がある程度削平されていることを考慮すれば、整地面を作り出した段状の遺構である可能性が高いと思われます。



溝状遺構 1



溝状遺構 2

これらの遺構からの出土遺物は小片が多く、時期については不明な点が多いのですが、第1次調査の状況や遺構の周辺および上面から出土した遺物等から概ね古代頃と考えられます。

溝状遺構の作られた順序については不明な部分がありますが、同じような場所で位置を南北にずらしながら造られているのが分かります。

このようなことから、比較的長期間にわたりこの場所を利用していたと考えられます。



溝状遺構 1 遺物出土状況



段状遺構（平坦面）遺物出土状況



(2) F 区

最も南側に位置し、現在調査中です。遺構としては、段状遺構や溝状遺構、土坑などを確認しています。この調査区も東半部には土器類を含んだ層（遺物包含層）が堆積しており、その中から弥生時代から中世にかけての遺物（弥生土器が量的には多い）が出土しています。

3 まとめ

第1次調査では、建物跡、掘立柱建物跡、溝状遺構を確認しました。出土遺物は土師質土器など中世の土器類が大半を占めており、中世を中心とした集落跡を確認しました。

今回の調査では第1次調査よりもさらに古い時代の遺構や遺物を確認しました。少なくとも弥生時代中期末には生活の痕跡があり、以後断続的ではあるけれども、集落が営まれていたようです。中世の荘園の一部となる要素が中世以前にすでに存在していた可能性を示唆しています。